

第39回コロキウム

同志社創立150周年記念 アメリカ研究所 特別公開講演会

The 39th IAS Colloquium: Public Lecture Commemorating the 150th Anniversary of Doshisha University



ハワイ島コナから グローバル・ヒストリーを 紡ぎ出すということ

2025年11月4日(火)
16:40-18:10

同志社大学今出川キャンパス
良心館RY107教室



講師：

飯島 真里子 (いいじま・まりこ) 氏
(上智大学 外国語学部英語学科・教授)



専門は歴史学（グローバル・ヒストリー、日本人の国際移動史、ハワイ史、商品作物の生産史）。

上智大学外国語学部卒業後、英国オックスフォード大学にてMPhilとDPhil課程修了。

主な業績として、『コナコーヒーのグローバル・ヒストリー——太平洋空間の重層的移動史』（京都大学学術出版会、2025年）、「戦後沖縄における糖業復興——製糖経験と沖縄ディアスポラの連続性」野入直美編『引揚エリートと戦後沖縄の再編』（不二出版、2024年）、「Japanese Diasporas and Coffee Production,」 *The Oxford Research Encyclopedia of Asian History* (2019) など。

講演要旨：

現在、ハワイ島コナは世界的有名な高品質コーヒーの産地として知られている。しかし、「コナコーヒー」生産が産業化され、ブランド化された背景には、200年にわたる人・植物・技術の越境移動が複雑に絡み合った歴史があった。今年2月に刊行された単著『コナコーヒーのグローバル・ヒストリー』をもとに、これまで周縁化されてきたコナを「移動の結節点」として捉えることで、日米帝国史、日本人移民史、そしてコーヒー生産史を接続するグローバル・ヒストリーの新たな叙述の試みとその課題について論じる。

主催：同志社大学アメリカ研究所

共催：同志社大学アメリカ研究所・部門研究3「Transient Subjects/Unsettled Settlers」

交通アクセス



問合せ
同志社大学アメリカ研究所事務室
ji-amekn@mail.doshisha.ac.jp

対面のみ/参加無料

※合理的配慮が必要な方は、問合せ先までご連絡ください。

どなたでも
ご参加いただけます

150th
1875-2025 ANNIVERSARY
The Doshisha